

展示・イベント

いずれも入場無料・事前申込不要です!!

石川県立輪島漆芸技術研修所

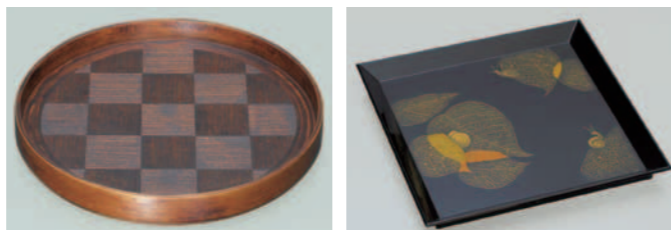
石川県立輪島漆芸技術研修所卒業生作品展

期間 3月14日(火)～3月21日(火・祝)
午前10時～午後6時

場所 石川県政記念しいのき迎賓館 ギャラリーA

内容 令和4年度の卒業生(特別研修課程3名、普通研修課程4名)が制作した作品を展示します。人間国宝から漆芸の技術を学んだ研修成果の集大成をぜひご覧ください。

問合せ TEL: 0768-22-7000 ホームページ: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/shikken/>



石川県埋蔵文化財センター

古代のはたおり体験

期間 2月25日(土)～3月12日(日)
午前9時～午後3時30分

場所 石川県埋蔵文化財センター

対象 小学校3年生以上

(小学校3・4年生は保護者と一緒に体験)

内容 高機という機織機を使って、自分だけのコースターを作ります。



問合せ TEL: 076-229-4477 ホームページ: <https://www.ishikawa-maibun.jp/>

作品は当日持ち帰ることができます

いろ・色・まが玉づくり

期間 3月13日(月)～3月26日(日)
午前9時～午後3時30分

場所 石川県埋蔵文化財センター

対象 小学校1年生以上

(小学校1・2・3年生は保護者と一緒に体験)

内容 色の異なる石材から一つを選び、大きな「特製まが玉」を作ります。



石川県立自然史資料館

企画展「草木染めの自然史」

期間 2月4日(土)～5月7日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

場所 石川県立自然史資料館 2F 企画展示室

内容 伝統的な染料植物をはじめ、庭木や雑草、野山に生えるいろいろな植物が草木染めに利用できることや草木染めにまつわる不思議を紹介します。

問合せ TEL: 076-229-3450 ホームページ: <https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/>



タマネギの皮で染めた布



伝統染料植物のクサギ

教育

たいあっぷ

No.52
2023
2月



いしかわ教育の日 シンボルマーク
発行・編集/石川県教育委員会
金沢市鞍月1-1
TEL(076)225-1811
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/index.html>

企業と連携したアントレプレナーシップ教育

石川県教育委員会では、今年度から高校生を対象に、アントレプレナーシップ教育(企業家精神を育成する教育)に取り組んでいます。

今年度は、奥能登の5校(穴水、門前、能登、輪島、飯田)の生徒が、企業の協力を得て、自分の暮らす地域の課題を解決するために必要なものは何か、それを実現するためにどのような事業を展開すれば採算がとれ持続可能になるのか、などを考えながら、調査やコストの計算を重ね、ビジネスプランを練り上げ、各校の代表生徒たちが集まり互いに発表しました。

こうした取り組みを通して、チャレンジ精神、創造性、探究心とともに、情報収集・分析力、実行力、コミュニケーション力などの資質・能力を育成していきたいと考えています。

1 アステナホールディングス(株) 社長による講義

奥能登に本社機能の一部を移転したアステナホールディングス株式会社の岩城慶太郎社長から、起業を行うことの意義や、地域の課題と向き合うことの重要性を教わりました。



参加生徒の声
「本当に将来実現したい計画になりました。」
「私たちの暮らす町を私たち自身で住みやすくできると実感しました。」

2 ビジネスプランの作成

アドバイザーから助言を受けながら、各校の生徒が、地域の課題を解決するための方法について考えました。参加した生徒たちは、具体的に何が必要か、どれだけの費用がかかるかなどについて考えるうちに、プランが明確になっていきました。



3 ビジネスプランの発表会

各校の代表生徒が、作成したビジネスプランを発表しました。「ジビエを使ったハンバーガーショップをつくり、若者が集まれる場所に作る」「英語教室の機能を持った学童保育をつくる」など、生徒が発表するビジネスプランに対して、審査員からは、「材料費が高つくと思うけれど、1個いくらで販売するのか」「利用者以外からも利益を出す仕組みを検討してはどうか」などの質問や助言があり、生徒たちにとって、プランをさらに具体化するためのヒントになりました。

生徒作成のビジネスプラン(発表資料から抜粋)

今回取り組むべき課題

- 児童館が1つしかなく、新たに子供の受け入れができない。
- 預けられなかった子どもたちが一人にならなくて済む。
- 西小付近に中高生が勉強できる場所がない。
- 一人暮らしの高齢者が増加していて、人と関わるチャンスが少ない。

解決策

- 西小学校方面に児童館を作る
- 預けられなかった子どもたちが一人にならなくて済む。
- 西小学校方面に住んでいる子供たちが勉強したり遊びに行けたりする。
- 高齢者が寂しい思いをせずに済む。

数値計画

児童館	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円
児童館	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円
児童館	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円
児童館	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円	1ヵ月2500円

門前町の地域ごとの小学生の人数や児童館の利用率、一人暮らしの高齢者の人数から課題を設定し、子どもだけでなくお年寄りも集う児童館の設立を解決策として提案。利用料を想定して実際に運営可能かも含めてプランを作成しました。

石川の産業を担う人材の育成に 取り組んでいます!



石川県教育委員会では、平成29年度より、職業に関する専門教育を行う県立高校（専門学科、総合学科を有する高校）の生徒たちが、企業や大学の方々に指導や助言をしてもらいながら、地域社会や産業の課題を発見し、その解決を目指す取り組みを行っています。

今年度は、専門高校19校の中から、11校を事業実施校に指定し、各学校で取り組みを進めました。

令和4年11月6日に開催された「いしかわ産業教育フェア2022」では、各校で取り組んだ成果を発表したほか、展示ブース、体験ブース、販売ブースなどに分かれて、様々な企画を行いました。

こうした取り組みを通して、引き続き、地域産業に貢献できる人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。



専門高校等における産学連携人材育成事業

各学校では地域の企業等と連携し、学校の特色に合わせた実践的な学習活動を行っています。

農業



藍の栽培試験(七尾東雲高校)

工業



3Dプリンターによる試作(小松工業高校)

商業



VR動画制作の学習(大聖寺実業高校)

福祉



高齢者を対象とした看護体験学習(田鶴浜高校)

いしかわ産業教育フェア 2022



研究発表会 ドローンを活用した農地の測量について発表しました。



販売ブース 生徒たちが育てた農作物や開発した商品を販売しました。



体験ブース (VR体験) 生徒作成のVR映像で兼六園散策を体験できるブースを設けました。

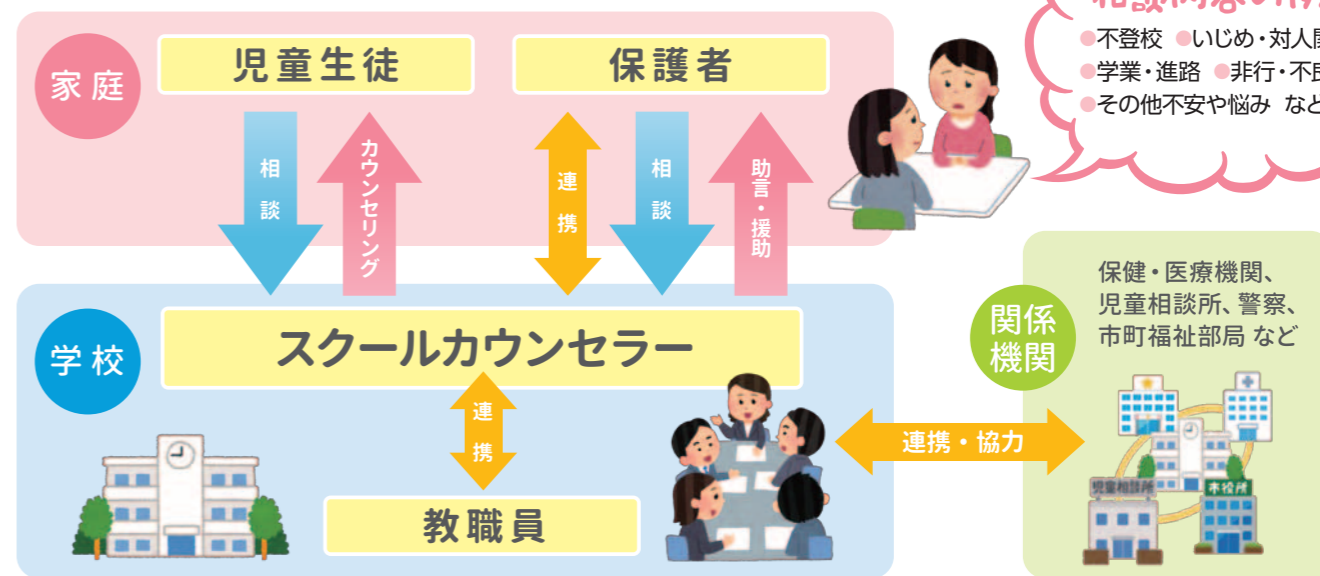
スクールカウンセラーをご活用ください!

石川県教育委員会では、人間関係や進路など、様々な悩みを受け止め、心のケアを行う心理の専門家であるスクールカウンセラーを、県内すべての公立小・中・高等学校に配置しています。

児童生徒からの相談だけでなく、保護者の皆様からの相談も受け付けていますので、何かお困りごとがありましたら、ぜひご活用ください。



連携体制



相談内容の例

- 不登校 ●いじめ・対人関係
- 学業・進路 ●非行・不良
- その他不安や悩み など

ヤングケアラーを知っていますか?

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことをいいます。

令和4年9月に公表された石川県ヤングケアラー実態調査によると、県内の小学6年生の8.0%、中学2年生の5.0%、高校2年生の3.2%が、世話をしている家族が「いる」と回答し、1クラスにつき1~2人のヤングケアラーがいるものと考えられます。

石川県教育委員会の取り組み

ヤングケアラーは家庭内の問題とされ、潜在化しがちなことから、早期に発見し適切な支援につなげていくことが重要です。

教員は子どもと接する時間が長く、日々の変化に気づきやすいことから、令和4年8月に教員を対象にヤングケアラーの早期発見の留意点や、支援機関との連携についての研修を行いました。



教員向けヤングケアラー研修の様子

困っている子どもたちへ

趣味や勉強など自分の時間がとれない、睡眠が十分にとれない、相談する人がいなくて孤独を感じる、ストレスを感じるなど、日常的に困っているときは、学校の先生やスクールカウンセラーに気軽にご相談ください。



石川県のホームページでも、様々な相談先を紹介しています。
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kosodate/young-carer/young-carer.html>

